

3月の衛研検査情報

～トピックス～

アレルギー物質を含む食品の検査結果（その2）

平成27年10月～平成28年2月に、健康福祉局食品専門監視班と各区福祉保健センターが、市内のファストフード店・ファミリーレストランなどのチェーン店や保育園・小学校などから収去した食品および特定原材料除去食などについて、卵と乳の検査を行いました。

主な結果 卵を使用していない食品や給食など72検体と、乳を使用していない食品や給食など55検体について検査を行ったところ、すべて陰性でした。

残留農薬検査（平成27年度 その4）

平成27年12月～平成28年2月に、健康福祉局食品専門監視班が収去した市内産農産物21検体について、残留する農薬の検査を行いました。

主な結果 かぶの葉からルフェヌロンが0.07ppm（基準値：一律基準値0.01ppm）、はくさいからアセタミプリドが0.02ppm（基準値：0.5ppm）、検出されました。

食品中の動物用医薬品検査結果

平成27年9月～平成28年2月に、健康福祉局食品専門監視班が収去および購入した畜産食品について、動物用医薬品の検査を行いました。

主な結果 インターネット購入品10検体と、市内流通品30検体について検査を行ったところ、鶏の筋肉1検体から、合成抗菌剤ナイカルバジンが0.33ppm（基準値：0.2ppm）検出されました。その他の食品については、すべての項目で不検出でした。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成28年2月は、インフルエンザ流行、EBウイルスと伝染性単核症、クロストリジウム・デフィシル感染症に関するページのアクセスが多くみられ、総件数は150,039件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。